

実行委員会企画
「文化の継承と創造」

会長挨拶 日本音楽教育学会会長 小川 容子

講演（宮代ホール）25日（土）15:15～15:45

カンボジア古典舞踊の継承と創造 1
 —グローバル化時代における文化的アイデンティティの様相—
 聖心女子大学学長 岡崎 淑子

シンポジウム（宮代ホール）25日（土）15:50～17:30

文化の継承と創造 2
 パネリスト：清虚洞一絃琴宗家四代 峯 岸 一 水
 アイルランド音楽家 守 安 功
 コーディネーター： 明治学院大学 水 戸 博 道

パネルディスカッション（宮代ホール）26日（日）15:15～16:45

新しい音楽文化の創造 4
 —ボーカロイドの可能性—
 企画・司会： 信州大学 齊 藤 忠 彦
 パネリスト： ボカロP 黒 田 亜 津
 武蔵野美術大学 菊 地 俊 公
 ヤマハ株式会社 剣 持 秀 紀
 滋賀大学 杉 江 淑 子

常任理事会企画

プロジェクト研究Ⅱ（332教室）25日（土）13:30～15:00

『歌唱共通教材』 5
 —〈研究者として、教育実践者として〉その意義と今後を考える—
 パネリスト： 文部科学省教科調査官 津 田 正 之
 和歌山大学教育学部附属小学校 江 田 司
 元東京都公立小学校教員 中 山 三恵子
 上越教育大学・作曲家 後 藤 丹
 企画・司会： 学習院大学 嶋 田 由 美

プロジェクト研究Ⅰ（332教室）26日（日）13:30～15:00

社会へのまなざし，社会からのまなざし（2） 6
 シンポジスト：明治学院大学 山 崎 晃
 学習院大学 飯 沼 慶 一
 東京音楽大学 加 藤 富美子
 企画・司会： 新潟大学 伊 野 義 博

研 究 発 表

研究発表A (331) 25日(土) 9:30～12:30

司会：小川昌文（横浜国立大学）・権藤敦子（広島大学）

A-1	明治期における唱歌教材とその評価 —『小学唱歌集』（明治15年～明治17年）を中心に—	7
	広島大学大学院生 山田めぐみ	
2	1950年代・器楽教育の発展と教育用楽器の品質保証 —楽器産業界と文部省・通産省の「駆け引き」に着目して—	8
	神戸大学大学院生 榎下達也	
3	広島高等師範学校附属小学校における唱歌劇の研究 —山本壽に着目して—	9
	広島大学大学院生 升田真依子	
4	小山作之助編『国教唱歌集』（1897年） —その後の唱歌への一つの道筋をつけた人物・唱歌集としての意義—	10
	学習院大学 嶋田由美	
5	近代化における歌の役割 —戦前の警察歌の歌詞と音楽からの考察—	11
	東京音楽大学 下道郁子	
6	昭和時代に3世代が託した日本の幼児音楽教育 —絶対音楽早教育からわらべ歌—	12
	大阪キリスト教短期大学 瀧田陽子	

研究発表B (332) 25日(土) 9:30～12:30

司会：今田匡彦（弘前大学）・笹野恵理子（立命館大学）

B-1	児童期における拍感の獲得過程 —音楽鑑賞時に発生する手拍子の解析から—	13
	岐阜女子大学 水野伸子	
2	1歳児音楽グループレッスンにおける親子の行動 —歌唱場面でのジェスチャー表出—	14
	玉川大学 梶川祥世 ヤマハ音楽振興会 森内秀夫	
3	表現と鑑賞の並列活動により音楽構成要素の 知覚・分析力の育成をめざした試行のまとめ	15
	愛知教育大学 新山王政和	
4	音楽表現指導場面における指導者と演奏者の相互作用 —指導者の発話と演奏MIDIデータの分析—	16
	宮崎大学 菅裕	
5	階名の精神的効果の層構造を意識するための教材の開発 —階名の精神的効果を層構造として把握する提案を通して—	17
	菊川南陵高等学校 平井光	
6	発声時の声は体のどこの部位から放射しているのか —音源探査装置を用いての声の視覚化—	18
	信州大学 齊藤忠彦 信州大学 田島達也	

研究発表C (333) 25日(土) 9:30～12:30

司会：菅 道子 (和歌山大学)・松本 正 (大分大学)

C-1	レッスンにおけるアプロプリエーションの有効性	19
	—高等学校吹奏楽部におけるディスコース分析にもとづく検討—	
	東京大学大学院生 小林 剛 志	
2	音楽科授業における集団と個の関係性の構築について	20
	—「ミュージッキング」の概念による教師からの働きかけに関する考察—	
	星美学園中学校高等学校 三 瓶 啓 子	
3	伴奏の音量が歌声に及ぼす影響	21
	—実験による声量と声質の分析を通して—	
	静岡大学大学院生 柴 山 いづみ	
	静岡大学 志 民 一 成	
4	移動ド唱法のススメ	22
	—ハンドサインを用いた読譜指導法の実践—	
	札幌学院大学 中 村 隆 夫	
5	フランスの中学校音楽科における授業計画の立て方	23
	—『プログラム』, 教員採用試験およびパリ・アカデミーのESPEにおける音楽教員養成の調査から—	
	愛知教育大学 吉 澤 恭 子	
6	多文化共生に向けた音楽活動について	24
	—スペインにおける取り組みより—	
	帝京大学 桐 原 礼	

研究発表D (334) 25日(土) 9:30～12:30

司会：寺内大輔 (広島大学)・松永洋介 (岐阜大学)

D-1	高校生の音楽的基礎能力に関する研究	25
	—小・中学校音楽科で育成された読譜力を基軸として—	
	兵庫教育大学大学院生 本 田 礼	
2	音楽学習材としての環境音	26
	—コンテキストから考える聴取の創造性—	
	北海道教育大学札幌校 石 出 和 也	
3	フースラーの理論に基づいた歌声の音響分析	27
	—アンザッツによる声質の音響的特性に表れる差異に着目して—	
	静岡大学大学院生 増 田 葉 月	
4	歌唱におけるイメージトレーニングを取り入れた指導法の考案と検証	28
	長野市立鍋屋田小学校・信州大学大学院生 伊 藤 雅 美	
5	実践事例にみる「児童の音楽的思考を深める言語活動」の哲学的分析	29
	植草学園大学 高 木 夏奈子	
6	擦弦楽器の演奏体験が及ぼす表現及び鑑賞の能力伸長の可能性	30
	—ヴァイオリンを活用した授業の試行—	
	お茶の水女子大学附属中学校 中 山 由 美	
	星槎大学・東京学芸大学大学院生 安久津 太 一	

研究発表E (341) 25日(土) 9:30～12:30

司会：磯田三津子(埼玉大学)・三村真弓(広島大学)

E-1	体験と子ども同士のつながりが生む合唱のあり方 —歌に心をのせる合唱指導—	31
	学校法人若草幼稚園 山中 淳 江	
2	幼小連携校から学ぶ「パロールとしての音楽の身体化」指導への4つの視点 —大和大学 寺井 郁子	32
3	オノマトペの音響効果に着目した指導方法に関する研究 —小学校音楽科における実践研究—	33
	広島大学附属小学校 森 保 尚 美	
4	子供の心を開き、自己肯定感を高める音楽授業 —日本語の音声表現を基盤とした声をもつ教育力に着目して—	34
	国立市立国立第六小学校 山内 雅 子	
5	見通しを持った行動能力育成についての一考察 —大学オペレッタ授業での場合—	35
	東京純心女子大学 平 田 千 秋 ポピンズナーサリースクール早稲田 新 藤 こずえ	
6	要素の組み合わせを活かした問題解決型音楽づくり教材の設計 —音楽の構造とイメージの関係に着目して—	36
	岡崎女子短期大学 滝 沢 ほだか	

研究発表F (342) 25日(土) 9:30～12:30

司会：小中慶子(東京都立野津田高等学校)・寺田己保子(埼玉学園大学)

F-1	中学校音楽科における学習意欲に関する研究 —動機づけ雰囲気に着目して—	37
	広島大学大学院生 別 府 祐 子	
2	中学校課外活動(管楽器演奏)におけるYUBAメソッドの導入効果 —カラオケ機器を使った教育への応用研究Ⅱ, 教育工学の視点から—	38
	愛知県東郷町立春木中学校 伊 達 忠 徳 三重大学 大久保 友加里	
3	初心者に対応したリコーダー —音孔の形状に着目して—	39
	明星大学 高 嶋 道 夫 太田市立太田小学校 渡 辺 正 恵	
4	音楽の流れを感じる学習での教師と児童の相互作用 —暁星小学校聖歌隊での歌唱活動の相互行為分析を通して—	40
	東京藝術大学 三 橋 さゆり	
5	現代音楽プロジェクトの目標基準準拠テストの特徴	41
	広島大学大学院生 酒 井 勇 也	
6	「音楽について語る」とは —中学校音楽科での「感想文」の功罪について—	42
	弘前大学大学院生 勘 林 稚 菜	

研究発表G (343) 25日(土) 9:30～12:30

司会：小畑千尋（宮城教育大学）・杉江淑子（滋賀大学）

G-1	音楽演奏者の“あがり”経験の特徴に関する研究 —大学生を対象とした因子分析による検討—	43
	広島大学大学院生 平山裕基	
2	音楽音高の言語的符号化に関する実験的研究	44
	明治学院大学 水戸博道	
3	就学前児童を対象とした楽器音の嗜好と記憶 —嗜好実験と操作実験から探る—	45
	岡山大学大学院生 星野ゆみ	
4	鍵盤操作の道具利用ネットワークとしての特殊性 —キー位置指示課題にみる可動な空間的記憶—	46
	日本学術振興会・京都市立芸術大学 大澤智恵 大阪大学大学院医学系研究科 木下博	
5	異なる保育形態における拍感の認識の形成過程に関する比較考察 —音楽的表現育成プログラムの第3段階から第4段階への移行過程に関する事例分析を中心に—	47
	大阪樟蔭女子大学 佐野美奈	
6	合唱活動における変声期男子のパート分けに関する研究（3） —小学校高学年男子にCambiata Conceptの方法論を適用して—	48
	山口大学 高橋雅子	

研究発表H (344) 25日(土) 9:30～12:30

司会：尾藤弥生（北海道教育大学）・福井昭史（長崎大学）

H-1	J-POPの音楽構造を活用した音楽づくりの実践と省察 —小学校5年生を対象とした授業の分析を通して—	49
	東京学芸大学大学院生 木下和彦	
2	日本の伝統文化理解の視点を踏まえた篠笛の指導 —中学校音楽科における授業と福原流横笛の観察事例を参考に—	50
	東京学芸大学大学院生 佐藤珠美	
3	郷土の民謡《切り音頭》の教材化 —「踊り」を取り入れた授業構成の視点—	51
	河内長野市立長野中学校 山本真弓	
4	「天吹」の研究 —尺八との関連から—	52
	國學院大学・東京学芸大学名誉教授 筒石賢昭山	
5	伝統文化教育としての地域固有の文化の指導 —済州民謡の教材の特性を生かした実践事例から—	53
	洗足学園音楽大学 金奎道 洗足学園音楽大学 澤田篤子	
6	唱歌（しょうが）再考 —何を伝えられ、何を伝えられないのか、そしてそれはなぜか—	54
	上越教育大学 玉村恭	

研究発表 I (331) 26日(日) 9:00 ~ 12:00

司会：有本真紀(立教大学)・下道郁子(東京音楽大学)

I-1	ベルリンのシュテレン音楽院に関する研究 —三代目グスタフ・ホーレンダー院長を中心に—	55
	武蔵大学大学院生 北川 聖子	
2	全米標準カリキュラムに見る米国の20世紀初期における幼稚園音楽教育 —『幼稚園カリキュラム』『幼稚園と第一学年のカリキュラム』を中心に—	56
	広島大学大学院生 井本 美穂	
3	スペインにおける初等音楽科教育 —1945年から1990年までの教育法の変遷に着目して—	57
	広島大学大学院生 ジュゼブ・フェラン・ガリシア	
4	音楽科教育における移動ド唱法の扱いの意義に関する一考察	58
	実践女子大学 長谷川 恭子	
5	高等学校芸術科(音楽)における効果的な学習に関する一考察(2) —S.K.ランガーの芸術哲学および中村雄二郎の共通感覚論に基づいて—	59
	宮城県石巻西高等学校 菅原 拓也	
6	《あんたがたどこさ》 —その〈特異な構造〉と〈面白さ〉について—	60
	帝塚山大学 村尾 忠廣	

研究発表 J (332) 26日(日) 9:00 ~ 12:00

司会：木間英子(昭和女子大学)・中嶋俊夫(横浜国立大学)

J-1	音楽を合わせるとは —〈あいだ〉をめぐる考察—	61
	弘前大学大学院生 熊谷 敬太	
2	身体と同調とリズムの連関についての考察 —目黒流貫井囃子の教授過程を対象として—	62
	東京学芸大学大学院生 田邊 裕子	
3	異日常性とはなにか —サウンド・エデュケーションを通して—	63
	弘前大学大学院生 高橋 憲人	
4	音楽教育と哲学 —ニコラス・クックの音楽論を中心に—	64
	弘前大学大学院生 千葉 修平	
5	ベネット・リーマーの美的教育思想 —リーマーの博士論文に見られる美的教育観とその史的意義—	65
	広島大学大学院生 長谷川 諒	
6	音楽科教育の目的論の再検討 —D. Elliottの <i>Music Matters</i> 第2版を手がかりに—	66
	横浜国立大学 小川 昌文	

研究発表K (333) 26日(日) 9:00～12:30

司会：尾見敦子（川村学園女子大学）・駒 久美子（和洋女子大学）

K-1	5歳児のわらべうたの音感覚の調査 —わらべうたの終止音に着目して—	67
		新潟青陵大学 渡 辺 優 子
2	CD音楽による胎教についての一考察 —近赤外光脳機能測定装置による脳血流量の変化—	68
		東京福祉大学 岡 村 弘
3	幼児教育現場における「聴く活動」の実践研究 —音楽基礎教育システム〈音楽家の耳〉トレーニングの活用—	69
		エリザベト音楽大学 田 中 晴 子 エリザベト音楽大学 岡 田 陽 子
4	モンテッソーリ教育におけるA.M.マッケローニの音楽指導法に関する研究 — <i>Music Book: The First Book</i> の検討を通して—	70
		広島大学大学院生 藤 尾 かの子
5	イギリスの幼児音楽 —3-5歳児のための保育内音楽の方向性—	71
		東北福祉大学 鈴 木 敦 子
6	19世紀初頭ドイツにおける幼児音楽教育 —ヴォルケの『簡略教育理論』を中心に—	72
		広島大学大学院生 井 下 べ に
7	子どもの表現と日本の伝統音楽⑦ —三味線への興味に着目して—	73
		東京藝術大学大学院生 鹿 倉 由 衣 白梅学園短期大学 長 井 覚 子

研究発表L (334) 26日(日) 9:00～12:30

司会：新山王政和（愛知教育大学）・高橋雅子（山口大学）

L-1	小学校音楽教科書における創作活動に関する一考察 —昭和55年に出版された教科書に着目して—	74
		広島大学大学院生 岡 崎 藍
2	理論と演奏の統合的学習に向けた新たな音楽科学習指導の構想 —即興演奏における「見えない理論」と演奏の関係に着目して—	75
		東京学芸大学大学院生 田 中 路
3	シンガポールの小学校芸術科音楽教科書に関する研究 —歌唱領域に着目して—	76
		広島大学大学院生 森 山 実 華
4	歌唱学習における声質の相似現象に関する研究 —指導者と学習者の声はなぜ似るのか—	77
		東京学芸大学大学院生 戸 谷 登 貴 子
5	音楽的複眼思考の深まりをめざした授業の試み —〈作曲家〉〈演奏者〉〈鑑賞者〉の視点の意識化—	78
		北海道教育大学附属札幌中学校 渡 辺 景 子
6	音楽のアフォーダンスを発見する子どもⅡ —身体の動きで音楽からの情報をピックアップする子どもたち—	79
		新潟市立浜浦小学校 内 海 昭 彦 新潟市立亀田東小学校 竹 内 知 佳
7	音楽表現における心理的表現能力の評価尺度開発	80
		兵庫教育大学大学院生 本 田 優 子

研究発表M (341) 26日(日) 9:00～12:30

司会：北山敦康（静岡大学）・島崎篤子（文教大学）

M-1	フレーベル『母の歌と愛撫の歌』の一実践事例の報告 —現代の保育教材としての可能性への一考察—	81
	園田学園女子大学短期大学部 馬場住子	
2	「音楽の教授学的解釈 (Didaktische Interpretation von Musik)」の理論 —K.H.エーレンフォルトによる主張の意義と課題—	82
	鳴門教育大学 小山英恵	
3	〈音〉を知覚し感受する力の育成のための課題 —〈音〉に対する多面的な理解を促進して—	83
	明星大学 阪井恵	
4	音楽科における学校図書館担当職員の授業支援 —東京学芸大学附属世田谷小学校の事例より—	84
	東京学芸大学研究員 杉山悦子	
5	「身体の動き」を取り入れた音楽学習に関する一考察 —ジュネーヴ州公立小学校における授業からの示唆—	85
	鹿児島大学 今由佳里	
6	「ふしづくりの教育」における授業の実際 —第3学年の授業を中心として—	86
	広島大学名誉教授 吉富功修 広島大学 三村真弓・広島大学 伊藤真	
7	総合表現活動によって培われる多様な力(3) —初等・中等教育における舞台制作の視点から—	87
	上越教育大学 時得紀子・上越市立雄志中学校 遠藤好子 上越教育大学附属小学校 湯澤卓	

研究発表N (342) 26日(日) 9:00～12:30

司会：桐原 礼（帝京大学）・山下薫子（東京藝術大学）

N-1	ピアノ演奏に対する専門家の評価活動 —楽曲に対する知識と演奏評価との関係に着目して—	88
	東京藝術大学大学院生 甲斐万里子	
2	鳥取大学学芸学部小学校教員養成における音楽教育実践	89
	鳥取大学 鈴木慎一朗	
3	音楽の生涯学習における活動プロセスの分析 —修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ (M-GTA) による理論の生成と応用—	90
	東京家政大学 山本双葉	
4	フィンランドの音楽科教員養成課程に関する研究 —各大学のカリキュラムとNational Core Curriculum2004との関連性を中心に—	91
	広島大学大学院生 藤井恵子	
5	ピアノ初心者の「苦手」と「つまずき」の傾向 —困難性に関する質問紙調査と成績の分析、エピソードの検討から—	92
	大阪芸術大学短期大学部 平尾佳子	
6	豊かな演奏表現をめざすヴァイオリン教材開発の視点 —アンサンブル活動を主体とした授業実践を通して—	93
	埼玉大学 伊藤誠	
7	音楽の生成や表現と向き合う学際的な学習の試み —音、色、春の季節感を通じたアプローチ—	94
	岐阜聖徳学園大学 加藤晴子 岡山大学 加藤内藏進・岡山大学 赤木里香子	

研究発表O (343) 26日(日) 9:00～12:30

司会：志民一成(静岡大学)・菅 裕(宮崎大学)

0-1	ピアノ初心者にみる読譜と手のポジショニングの関連	95
	岡山大学大学院生 榎 田 えりか 広島工業大学 梅 村 祥 之	
2	ピアノ演奏における聴覚の役割とその育成方法に関する研究 —ツィンゲラー奏法の検討, レッスン受講を通して—	96
	日本女子大学大学院研究生 塚 越 裕 子	
3	「保育・教職実践演習」における保育内容「表現」の指導に関する 授業内容の実施について	97
	山口芸術短期大学 山 本 奈帆子	
4	小学校教員養成課程の学生自身の「音痴」意識 —2000年同調査との比較を中心として—	98
	宮城教育大学 小 畑 千 尋	
5	現在のオルフ研究所における「エレメンタールな音楽」の実際 —教員へのインタビューと授業実践を通して—	99
	東京福祉大学 下 出 美智子	
6	1960年代のスウェーデンにおける成人のための音楽教育の実態 —スウェーデン政府公式調査報告書SOU1968:15の内容を中心に—	100
	広島大学大学院生 松 本 進乃助	
7	フィールドワークとインタビューの分析を通じた音楽指導観の比較研究 —小学校教師と音楽家の場合—	101
	上野学園大学 瀧 川 淳 就実大学 古 山 典 子	

研究発表P (344) 26日(日) 9:00～12:00

司会：塩原麻里(国立音楽大学)・深見友紀子(京都女子大学)

P-1	イギリスにおける音楽のインフォーマル学習の支援プログラムの可能性 —中等教育段階を中心として—	102
	武庫川女子大学 小松原 祥 子	
2	チェルニー練習曲集にみられる多様な表現技法 —50番練習曲集 op.740 を例に—	103
	東京音楽大学大学院音楽研究科音楽教育専攻修了 佐 藤 容 子	
3	知的障害を有する生徒と音楽の関係について —学校生活でのエピソード記述をもとに—	104
	弘前大学教育学部附属特別支援学校 小 枝 洋 平	
4	ムーブメント教育における音楽 —走行ムーブメントの動きと音楽の関わり—	105
	早稲田大学大学院生 池 田 康 子	
5	音楽科における教師の力量形成過程 —2013年度弘前大会「プロジェクト研究I」における高見発表の続編—	106
	佛教大学 高 見 仁 志	
6	ピアノにおける即興指導法 —ハンガリーのアバジ・マリア『ピアノの夢-創造的なピアノ学習』の指導実践例—	107
	宮城教育大学 降 矢 美彌子	

共 同 企 画

- 共同企画Ⅰ** ラウンドテーブル (331) 10月25日(土) 13:30～15:00
 音楽の〈肌理〉とはなにか 108
 —合奏, 身体, 視覚芸術をキーワードとして—
 弘前大学 今 田 匡 彦
 弘前大学大学院生 熊 谷 敬 太
 弘前大学大学院生 千 葉 修 平
 弘前大学大学院生 高 橋 憲 人
- 共同企画Ⅱ** ラウンドテーブル (333) 10月25日(土) 13:30～15:00
 音楽科教育は存在できるのか? 109
 —次期学習指導要領の改訂に求める子どもの資質や能力を考える—
 コーディネーター: 新潟大学教育学部 森 下 修 次
 提案者: 玉川大学 高 須 一
 上越教育大学 菊 地 雅 樹
- 共同企画Ⅲ** プレゼンテーション+ワークショップ (342) 10月25日(土) 13:30～15:00
 ハンガリーのソルフェージュ指導の実際 110
 —ウグリン・ガーボルの指導法とソルフェージュ・コンクール—
 企画者・司会者・話題提供者: 宮城教育大学 降 矢 美 彌 子
 話題提供者: 会津若松市立荒館小学校 目 黒 稚 子
 金沢市立野田中学校 粕 谷 雪 子
 福島市立福島第三中学校 大 木 恵 美
 実践女子学園中学校高等学校 岩 田 愛 子
 千葉県立四街道高等学校 竜 田 晴 美
- 共同企画Ⅳ** ラウンドテーブル (343) 10月25日(土) 13:30～15:00
 表現する身体と表現する自己 111
 —音楽表現の現場を生きる人間の存在をいかに解釈するか—
 話題提供者・司会者: 千葉経済大学 小 池 順 子
 話題提供者: 埼玉大学 磯 田 三 津 子
 東京未来大学 森 薫
- 共同企画Ⅴ** パネルディスカッション (331) 10月26日(日) 13:30～15:00
 音楽教育のソーシャライゼーションを目指して 112
 —社会と教室との断絶をどう解消するか—
 コーディネーター: 京都女子大学発達教育学部 深 見 友 紀 子
 パネリスト: 東京藝術大学大学院生 日 高 良 祐
 東京大学大学院生 中 西 宣 人
 立教大学 井 手 口 彰 典
 指定討論者: 横浜市立川井小学校 秀 徳 能 尚

共同企画Ⅵ ラウンドテーブル (333) 10月26日(日) 13:30～15:00
 音楽教育における「幼小接続」をどう考える 113
 —アメリカ・フィンランド・ハンガリーの現状比較から—
 企画者・話題提供者：川村学園女子大学 尾 見 敦 子
 司会者・話題提供者：横浜国立大学 小 川 昌 文
 話題提供者：昭和女子大学 永 岡 都

共同企画Ⅶ ラウンドテーブル (343) 10月26日(日) 13:30～15:00
 子どもが育つ音楽教育 114
 —スペイン・カタルーニャ州グラノリエース市のペラアントン校における実践—
 企画者・司会者：広島大学 三 村 真 弓
 情報提供者：ペラアントン校 ルゼ・マルティネス
 ペラアントン校 アナ・ファレス
 話題提供者：広島大学名誉教授 吉 富 功 修
 広島大学 伊 藤 真
 話題提供者・通訳：広島大学大学院生 ジュゼップ・フェラン・ガリシア

共同企画Ⅷ ラウンドテーブル (332) 10月26日(日) 15:15～16:45
 「掛け合い歌」の教育学Ⅰ 115
 進行・発表者：新潟大学 伊 野 義 博
 発表者：東京音楽大学 加 藤 富美子
 中部大学 黒 田 清 子
 広島大学 権 藤 敦 子
 国立音楽大学 山 本 幸 正
 新潟大学大学院生 娜 布 其

共同企画Ⅸ ラウンドテーブル (342) 10月26日(日) 15:15～16:45
 Inside or Outside? 116
 —日本伝統音楽における情景描写—
 話題提供者：洗足学園音楽大学 澤 田 篤 子
 放送大学 配 川 美 加
 指定討論者：弘前大学 今 田 匡 彦
 明治学院大学 水 戸 博 道
 企画・司会：日本女子大学 坪 能 由 紀 子